

Tuuli

トゥーリ

2014年4月15日発行

新緑の美しい季節となりました。根川沿いの桜は今年も見事でしたが、今、けやき広場では様々なお花の競演が楽しめます。毎朝けやき広場で行われる体操には、たくさんの特養の利用者の方々が参加されます。送迎のお手伝いをしてくださっているボランティアさん方は花の名前に詳しく、まるでその花がご自分のお友達のように丁寧に紹介してくださっています。花を育てる人、花を紹介してくださる人、その花を愛でる人、皆さん、どの花にも負けないくらい美しく咲き誇っておられるように見えました。

陶芸教室の作品がテーブルになりました！

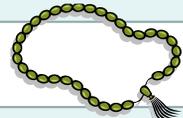
生活アクティビティでは陶芸教室を行っています。その活動の一つに陶板づくりがあります。まず粘土で板を作り、そこに絵をかき、色を付けて、焼き上げて、陶板が出来上がります。



ボランティアでその指導をしてくださっているのがジョージ兼路さんです。今回お友達の環境アート作家、田中梅夫さんとお二人でその陶板をテーブルにしてくださいました。けやき広場のしだれ桜のそばにあります。

どうぞご覧ください。とても素敵なテーブルになりました。

ともしび法話会送迎ボランティアの募集



曹洞宗研修センターの若いお坊さん7名がほぼ月に1回の割合でご法話を行ってくださいます。楽しみにしておられるお年寄りが大勢いらっしゃいます。そのお年寄りの送迎と見守りをお願いいたします。

- ◆ 日にち：5月10日、7月19日、9月6日、10月18日、11月8日、12月6日
1月24日、2月7日（すべて土曜日）
- ◆ 時間：10時～11時（その前後に送迎をお願いします。）
- ◆ 人数：1～2名 ◆ 場所：センター2階ホール

編み物クラブボランティア募集



- ◆ 曜日：第1・第3木曜日
- ◆ 時間：13:30～14:30（その前後に送迎をお願いします。）
- ◆ 場所：2階パントリーか4階ホビールーム
- ◆ 募集人数：各日1名～2名
- ◆ 活動内容：送迎と活動中横で一緒に編み物を見てください

詳しくはボランティアコーナーまで

衣類の仕分けボランティア募集

特養3階・5階で衣類の仕分けをしてくださるボランティアさんを募集します。

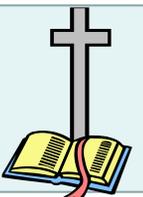
- ◆ 曜日：ご都合の良い日で結構です。
- ◆ 時間：ご相談に応じます
- ◆ 場所：特養3階/5階
- ◆ 内容：衣類整理とできれば繕い物や衣類の名前つけもお願いします
- ◆ 募集人数：各日1名～2名



訪問礼拝送迎ボランティアの募集

H26年度、第1回目の礼拝です。同じく送迎と見守りをお願いいたします。

- 日時：5月7日（水） 10時30分より（10時ころより送迎開始）
- 場所：本館4階 会議室
- 活動内容：利用者の送迎と礼拝中の見守り





ボランティア交流会終了のご報告



3月25日(火)に行いましたH25年度のボランティア交流会には大勢の方にご参加いただき、ありがとうございました。橋本正明ホーム長より「至誠ホーム新介護施設建設の取り組み」のお話と、3名のボランティアさんによるボランティア活動の報告がありました。

1. 橋本 正明 至誠ホーム長 ご挨拶



日ごろ至誠ホームでご活動、ご協力いただきありがとうございます。

錦特養の設備老朽化と生活空間の改善という問題を解決するべく新しい施設を建設します。在宅サービスを支える地域の中核としての施設、最後までお世話ができる施設、障がいのある方の短期利用も組み込んだ複合型の施設、そして職員の腰痛対策をする施設を目指します。

東京都全域からご利用いただけます。地域のニーズに対応することで地域社会と施設がつながっていきます。共助、自助、公助、互助にボランティアの皆さんの力が大きな意味を持ちます。これからもご支援いただき、至誠ホームが皆さんのふるさとになってくれるように願っています。

2. 渡邊 綾子さんのお話し



私にとってここは親のいた実家であり、ふるさとという感覚でいます。自分史の作成のお手伝いを、引き受けてから大変な仕事だと気が付きました。お話を聴くだけでなくそれを書き留め、編集という作業があります。ホームのモットーの「誠の心」に背中を押されて開始しました。

9月から9回聞き取りをすると、もう一つ大変なこと、校正が待っていました。プライバシーを第三者に漏らしてはいけないので、誰にも読んでもらえないのです。ただ、ご本人が何のために、誰に向けて、どんなことを伝えたいのかがはっきりしておられましたので、何度も一緒に確認をしながら校正を進めました。

「誠の心」に背中を押され、何とか出来上がりました。とても貴重な経験でした。

3. 木下 正己さんのお話



サラリーマン生活から180度違う造園業をはじめ6年になります。独立時、三分の二仕事をし、三分の一はボランティアと奉仕をしようと決めました。その頃至誠ホームでボランティアをしている島田さんに出会い、この樹木の多い至誠ホームで自分の腕を磨かせてもらおうと決めました。

和光ホームで庭木の手入れをしていたら春山園長や当時92歳になる利用者の方も手伝ってくださいました。ボランティアゆえに感じ取れる人のぬくもりを感じ、また逆に私が元気をもらいました。

お礼の気持ちで門松を贈らせていただいていたのですが、去年は和光の皆さんと一緒につくりました。藁の袴取りの作業から飾り付けまで和気あいあいとそれは楽しく行いました。ボランティアとは勉強の場、元氣や感動をいただく場です。「持ちつ持たれつ」の世の中ですが「持ちつ」をめざし、今後も精進したいと思います。

4. 百瀬 千枝さんのお話



私はコンピューターなんかやっておりますがそそっかしくのんきな88才です。スオミに開所以来入居しておりとても幸せに暮らしています。ちょっとした刺激がほしくボランティアを始めました。

1つ目はホーム喫茶でオールドウエイトレスをやっております。「この年でウエイトレスに雇ってもらえないよ。」という娘の言葉で始め、大変疲れますが楽しくやっております。ここはホーム長のご配慮からお酒をお出しします。お酒がまわってくると、とても楽しいお話に花が咲き、私は感激します。

2つ目はデイホームで新しいコーヒーマシンを使ってコーヒーをお入れする仕事です。

3つ目は朝の体操の送迎のお手伝いです。寒い日、暑い日は「嫌だな、休みたいな。」と思うこともありました。でも年を重ねるうちに、利用者さんがいとおしくなってきました。これぞボランティアの妙味だなと思い始めているところです。